



すみれぐみだより

2022年 7月 第2号

すみれぐみの生活も3ヶ月が過ぎ、緊張もほぐれ子ども達と保育士との距離感もぐっと縮まってきたように感じるこの頃です。様々な遊びを一緒に楽しんでいく中で表情にも変化が見られ、子ども達自身も少しずつ自分らしさを表現できるようになりました。

夏ならではの遊びをダイナミックに楽しみながら、もっともっと子ども達の内に秘めた思いを開放できるような保育を行っていきたいと思います。

『ふわふわ』いっぱい

様々な遊びを楽しんでいく中、自分の世界観を楽しんで遊んだり、気の合う少人数で遊ぶ事が多かった子ども達ですが、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り、誘い合って集団で遊ぶ事も増えてきました。誰かが「〇〇やる人」と声を掛けたり、「一緒に遊ぼう」とひとつの物を作る為に皆で協力して遊ぶ姿も多く見られるようになりました。しかし、遊びの中で、自分の思いと友達の思いの違いでぶつかることも増えてきて、「一緒に遊ばない」「嫌い」「あっち行って」などの言葉が出てしまう事もあります。自分の思いと反することがあった時に上手く説明が出来ずに言うてしまう一言ですが、言われてしまった子はとても悲しい気持ちになります。子ども達はそれでもすぐに仲良く遊び始めますが、ちょっとでも悲しい思いはしてほしくないものです。しかし、目に見えない『気持ち』を考えるのは難しいので、『ちくちく言葉』『ふわふわ言葉』に分けてみました。《ちくちく言葉=いじわる、かなしい》《ふわふわ言葉=うれしい、あたたかい》と子ども達もイメージしやすくなったようで、友達同士で「それはちくちくだよ」と教え合ったり、家でも話をしてくれた子も多かったようです。目に見えない『気持ち』『友達の思い』を理解し、言葉で表現するのは難しい事ですが「ふわふわ」で一杯のすみれぐみにしていきたいと思っています。



『しあわせ』の色

絵本が大好きで、様々な種類の絵本の中から子ども達は色々な事を想像したり、考えたりしながら楽しんでいきます。少し長くなるような「難しいかな」と思うような絵本でも集中して見る事が出来たり、時には笑いが止まらなくなってしまう事もあります。そんな子ども達の反応が嬉しくて、次はどんな絵本を読もうかと選ぶのも楽しくなります。『シンデレラ』『しらゆきひめ』は大好きで、クライマックスは「キャー」と少し恥ずかしがりながら見ている子ども達です。それぞれにお気に入りのお姫様がいたり、王子様は誰にしようかと盛り上がり、クラス内でも「〇〇姫」「〇〇王子」と呼び合い、ごっこ遊びなどでも盛り上がっています。『しあわせにくらしました』で終わる物語が多く、『しあわせ』という言葉にどんなイメージを持っているのか聞いてみると、『やさしい、うれしい、ふわふわ』と答えてくれました。次に『しあわせの色』を聞いてみると『きらきら、虹色』と笑顔いっぱいの子も達。しあわせ色の笑顔が輝いていました。

これからも、沢山の物語に触れ、絵本を通して考えたり、感じたことを言葉で表現したり、遊びに発展させたりしながら豊かな想像力を育み、様々な遊びを一緒に楽しんでいきたいと思っています。

鳴子やバルーンを使って元気に体を動かして楽しんでいます



戸外遊び

